



紅葉の山頂付近 いにしへの道 朝日軍道を行く

朝日自然塾「紅葉の葉山登山で森と歴史をまるごと体験」は10月18日、長井市の置賜葉山（1237m）で、紅葉真っ盛り 秋晴れの良い天気の中実施されました。

この時季、盆地特有の濃い朝霧の中、初めていく山頂の光景を想像しながら、元気に黙々と登山を開始。

ところどころで、休憩を取りながら、ブナ林などの森の話、葉山に伝わる伝説や、地名のいわれ等々を聞きました。

登る途中では、栗やドングリの実を拾ったり、ナラタケ、クリタケ等のキノコも採りました。

やがておけさ堀に到着、ここでは、勘三郎夫婦の堀掘削伝説とこの山のあちこちにある堀や史跡の話に、昔人の水田開拓の情熱に驚かされました。

ここから望んだ置賜盆地、長井市や周辺の散居集落の風景が目に焼き付きました。







ブナ林の中を登る



おけさ堀から置賜盆地を望む

葉山は、朝日連峰の端っこにある山という意味で「端山」が語源で、古来より端山信仰に支えられ、山頂までは鬱蒼とした森林に囲まれていました。

木は大木は少なく、ミズナラやブナの二次林で、カラマツ林もあり、麓にすむ人々との長い係わりを感じることができました。



おけさ堀



昭和堰で休憩



祝瓶山



山頂から、祝瓶山、飯豊連峰、吾妻連峰、奥羽山脈、白鷹山等の展望を堪能





山頂で記念撮影



山頂で捕まえた珍しい蝶アサギマダラ



姥石で休憩



今回の朝日自然塾7「紅葉の葉山登山で森と歴史をまるごと体験」は、山形県山岳連盟（長井山岳会）の竹田さん、菊池さんにご協力をいただき、コースの案内や、ブナ林など森の話、葉山に伝わる伝説や、地名のいわれ等々を教えてくださいました。



キンチャフウセンタケ(?)



ツルタケダマシ(毒)



ヤマブシタケ(幼菌)(食)



アキノギンレイソウ

### 朝日自然塾運営協議会

山形県山岳連盟 出羽三山の自然を守る会 小国の自然を守る会  
 山形県溪流釣り協議会 山形県内水面漁業協同組合連合会 山形県猟友会  
 西川町大井沢区 大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館 鶴岡市朝日庁舎  
 東北森林管理局 朝日庄内森林環境保全ふれあいセンタ - (事務局)